



●やちよ農業交流センターで「マルシェ」を開催

市内外の農家や飲食店、雑貨店などが旬の農産物や手作り雑貨などを販売する「八千代のマルシェ「マルシェ」」が5月11日、やちよ農業交流センターで開催されました。

マルシェとはフランス語で「市場」の意味。作り手の顔を見ながら買い物ができるスタイルで、ヨーロッパでは公園や広場などで頻りに開催され、生活の一部になっています。

天候にも恵まれたこの日は、家族連れなど6,000人で賑わい、あちらこちらで生産者と会話を楽しみながら買い物をする姿が見られました。



●バンコク子ども親善大使が市を訪問

5月21日～28日、友好都市提携を結ぶバンコク都から子ども親善大使が来日。文化伝承館で茶道を体験したほか、南高津小学校で児童と一緒に書道の授業を受けるなど交流を深めました。



●「公共施設再編に係る提言書」の報告会を開催

5月22日、八千代台東南公共センターで「公共施設再編に係る提言書」の報告会が開催され、36人が参加しました。

スポーツの持つ力を熱弁

サッカー解説者セルジオ越後講演会

5月15日、サッカー解説などでおなじみのセルジオ越後さんの講演会とパネルディスカッションが勝田台文化センターで行われ、約150人が参加しました。「ワールドカップで日本代表が勝てば、知らない人同士でも盛り上げられる。つながりを増やすチャンスだよ」とセルジオさん。世の中が便利で効率的になった分、人と出会う機会が少なくなっている中、サッカーをはじめとするスポーツには、人と人とを結びつける力があると熱弁をふるいました。続いて行われたパネルディスカッションでは、市



▲パネルディスカッションでは活発な意見が飛びかいました。内外のスポーツ関係者や今年の新成人代表など7人がパネリストとなり「生涯スポーツと地域振興」をテーマに各々の意見を発表しました。

もうすぐ生まれてくるわが子のために

パパとママの子育て教室に46組が参加



▲赤ちゃん人形に話しかけながらやさしく沐浴させました

5月17日、保健センターでパパとママの子育て教室が行われました。初めて赤ちゃんを迎える夫婦46組が参加し、赤ちゃん人形でお風呂の入れ方などを学びました。始めはぎこちない手つきで人形をだっこしていたお父さんも、講座が終わる頃には、「早く自分の子をお風呂に入れたい」と自信をつけた様子。

教室の後半は、産後の家族の役割などをパパ・ママ同士で話し合い、赤ちゃんと一緒に生活についてイメージを膨らませました。

リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時まで（午後4時～5時は☎483-1151へ）。交渉は当事者で行い、結果は必ず同センターに報告してください。市内在住の人が対象です。企業・団体は利用できません。

【あげます】▶電話台（木製・キャスター付き）／縦92cm×横46cm×奥行31cm ▶座卓（大）▶ハムスター用ゲージ ▶鳥カゴ（付属品付き一式）／高さ30cm ▶造園用砂利／10kg ▶昭和歌謡集ベストシリーズ（CD11枚）

◆市役所1階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また、同センターでは食品の放射性物質検査も行っています。

防災無線の自動電話応答サービスの通話料が6月16日から無料に

防災無線で放送した内容を、電話で確認できる自動電話応答サービスの専用電話番号が変わります。6月16日(月)からは☎0120(970)911に変更になり、通話料が無料になります。本日は6月15日は、☎483(3770)へおかけください。

八千代歌壇

八千代市短歌会選

夕日に君子蘭の花咲き誇り遠き記憶の母に逢えたり

(高津団地) 石井 孝子

母の齢はるかに越えて生きており今も戦争はどこかにあれば

(勝田台) 石垣 玲子

転居せし息子と数日繋がらぬ電話このまま絆絶つがに

(八千代台南) 桑原 慎子

この春も笑まえる花に会えしこと歌と絵にかき記憶にとど

(大和田新田) 諏訪 俊一

今し痛む里子を知らず母猫の乳房腫らして子を読ぶ声に

(大和田) 坂井 ワカ

そぎ落としなおそぎ落とし人間の芯のみのさま即身は

(大和田新田) 末澤 章子

露ひかるグラウンドの小草ふみしめてラジオ体操先ず深呼吸

(上高野) 上岡あや子

容赦なく伐採されて宅地化す鶯の住む森でありしを

(大和田新田) 児玉 将孝

選評

一首目、上の句の美しい表現に、多くの人に通じる母への賛美と追憶が伺えて優しい一首になった。二首目、このうたも母への想いのうたである。今世界中に紛争の火種がありあちこちに煙が上がっている。いつ火の粉が降りかかって来るかも知れぬ状況の中で、母の齢を越えて生きている幸せと子ども達にそれを手渡しているか母なればこそその感いであろう。三首目、今月は母のうたが三首続いた。一読して気持ちが良く解り結句の動転ぶりも理解出来る。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

甘やかす自分の中に敵がいる 村上団地 阿部ちえこ  
 点滴は命を託す同伴者 緑が丘 佐々木長司  
 老人会空気が和らぐ桜餅 大和田新田 羽村田 廣  
 人生に色を加えて生きなおいし 緑が丘 黒木 麗  
 拾われた犬ラッキーと名付けられ 勝田台 宇都 表  
 独り言日記に書いて憂さ晴らす 勝田台 吉崎瑠璃子  
 愛情の重ね着を脱ぐ親離れ 八千代台北 中川記代子  
 嬉しいと正直になる子の笑顔 萱 田 鈴木みち子